

地区の概要

- (1) 地区の人口および世帯数 令和2年度 (2926人) (998軒)
- (2) 清水西地区は。水が綺麗で自然豊かな人情味あふれる地区であり、美味しいお米がたくさん収穫出来る地区です。また、地区には歴史的にも重要な文化財があります。その中でも大森町の無形民俗文化財(睦月神事)をはじめ、滝波町の(五智如来像)が代表的な文化財です。さらに本折町には齊藤実盛の城跡(城山)があり、山に登れば、西地区の集落がほとんど、一望できます。又、食については、昔から納豆汁、葉寿司、油あげの煮物など、地区の伝承料理として引き継がれています。

(1) 今後の清水西地区まちづくりビジョン

過疎化、高齢者が進む西地区では安全、安心の確保だけでは人口減少に歯止めがきかない。地域を良くするビジョンを作成するには、少なくとも他、地区と地域間競争に打ち勝つ、魅力的な内容であるべきである。西地区ではふるさ委員会が中心になり、活力ある農村づくりを目指すのが

1 番合っている。又、若者が都会から U ターンできる六次産業の会社を仲間達で立ち上げ積極的に推進していく。

又、荒廃地を積極的に活用し、高齢者の雇用を生み出し、花畑や公園化の充実を図ります。

(現 状)

(1) 過疎化、高齢化と人口減少

- ・若者の人口減少
- ・老人、壮年の無気力（年金、福祉たよりの生活）

(2) 荒廃地の急増、中山間地の里山破壊

- ・米作中心の農業（中山間地にあった農業振興）
- ・農民の自立した農業（畑作農業への転換。特に中山間では）

(3) ・安全、安心の崩壊進行

- ・人口減少により交通手段の悪化（通学、通院、買い物）

(4) ・人・者・金・情報で他地域より埋没

(今後の清水西地区の活力ある地域づくりの方法)

(1) 人材発掘と地域資産の方法

- ・当地区内外で活躍している人の意見、協力。
- ・若いリーダーの育成。
- ・清水西地区の特産品の開発と s a i d o 支援

(2) 高齢者の生きがいづくり

- ・これまで培った能力、技術の活用
- ・高齢者の自律の促進（p p k, 死ぬまで現役の勧め）

(3) ・魅力づくり・地域間競争に打ち勝つ精神

- ・一村一品の現代班のシステムづくり（集落ごとにあつた果樹づくり、又は特産品づくり）
- ・荒廢地の有効活用実施（高齢者による公園づくり）
- ・地域での老々介護できるシステムづくり（地域一体での取り組み）

- (4) 清水西地区ふるさとづくり委員会が中心になり、自治連合会、PTA、社会福祉協議会、地域の企業が連携しながら地域バスの運行を確立します。自分達のふるさとを活性化するためにはまず、地域住民が変わらなければなりません。地域住民を巻き込み、意見を反映しながら、5年先を見据えこの計画を実現していくよう努力します。